

---



---

## 学内活動報告

---



---

順天堂大学保健看護学部 順天堂保健看護研究 6  
P.67-69 (2018)

# 学術メディアセンター主催「秋のコミックフェア」報告

## “Autumn Comic Fair” by Academic Media Center

浦川 加代子*	磯 祥子*	鈴木 江利子*
URAKAWA Kayoko	ISO Sachiko	SUZUKI Eriko
高橋 智子*	江口 晶子*	水谷 恭子*
TAKAHASHI Tomoko	EGUCHI Akiko	MIZUTANI Kyouko

### 要 旨

平成29年度学術メディアセンター運営小委員会では、教育・研究活動の基盤部門として「情報発信力」をより強化していく方針を立てて活動を開始した。図書および雑誌購入、貸出業務に加え、新規の活動として10月に1年生を対象として教養ゼミナールの講義において「情報リテラシー教育」を開始した。また、11月～12月に「秋のコミックフェア」を開催し、学術メディアセンターが保有する約160冊の医療系コミックを閲覧できるスペースを整備したので報告する。

索引用語：コミック、学術メディアセンター、発信力、情報

Key words：Comic, Academic Media Center, Outgoing force, Information

### 1. 「秋のコミックフェア」開催の目的

これまで学生から医療関係のコミックの購入希望が複数あり、学生が楽しみにコミックを読んでいることを把握していたが、保有冊数と内容の把握はできていなかった。現在、多くの大学では、図書館の役割が変革され、図書および雑誌の閲覧や文献検索の場所だけでなく、「学生の憩いの場所（カフェの併設）」「学生同士のコミュニケーションの場所」「入学試験の場所」など様々な活動を行う部門として、活用の幅が拡大されている。

本学部は、大学の中でも遠隔地にあるため他学部との

交流が少なく、ややもすると閉鎖的な学習環境になりがちである。そこで、学術メディアセンターがより「情報発信力」を強化することで、学生の教育・研究活動を刺激していく活動が重要であると考えた。「秋のコミックフェア」は、これまで棚に分散していたコミックを一か所にまとめることで、学生がコミックを手に取りやすくなり、また、そこでリラックスできる環境を整備することで落ち着いて時間を過ごし、楽しみ、コミックを通じて興味や関心が刺激され次の学習につなげていくことを目的として企画した。

### 2. 実施内容

学術メディアセンターでは、1・2年生の学生8名が業務の補助を行っているので、「秋のコミックフェ

---

\* 順天堂大学保健看護学部

\* *Juntendo University Faculty of Health Science and Nursing*

(Nov. 10, 2017 原稿受付) (Jan. 19, 2018 原稿受領)

ア」開催ポスターを作成してもらった。学生らしい感性で素敵なポスターが完成した。学内に掲示するとともにホームページに掲載して案内をした。

場所の整備は、学術メディアセンター内のデッドスペースを活用し、学生の意見で一人用の小さなソファを6脚設置した。後方の窓は廊下側から見えるので、包装紙を貼って目隠しをした。また、感想ノートを置いて利用した学生の声を書いてもらうように工夫した。

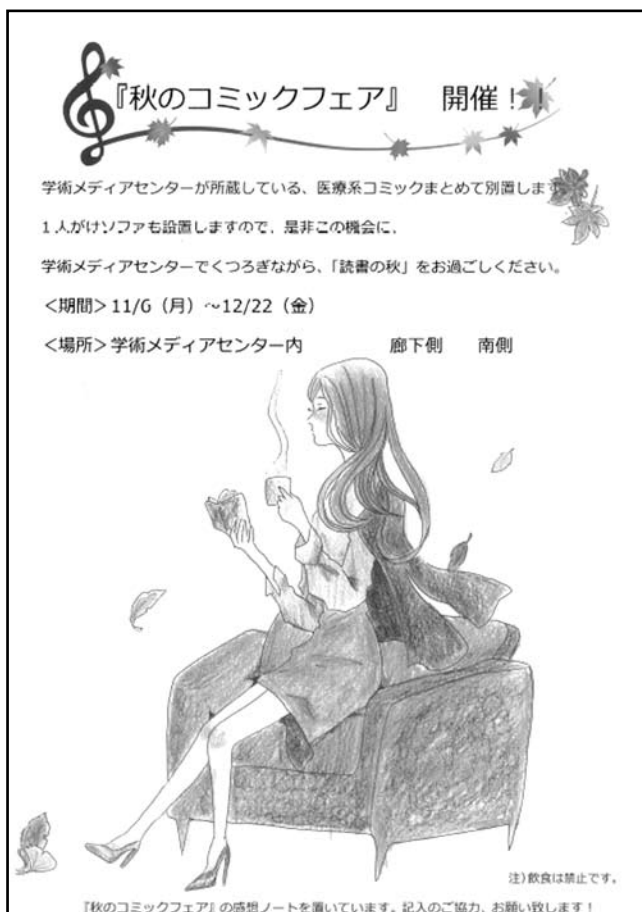


図1 「秋のコミックフェア」ポスター

### 3. 実施結果

学生からの意見は、以下の通りである。利用者は多くはなかったが（20名程度）、肯定的な反応を得ることができた。興味や関心が刺激され、知識の面でも新



図2 開催の様子

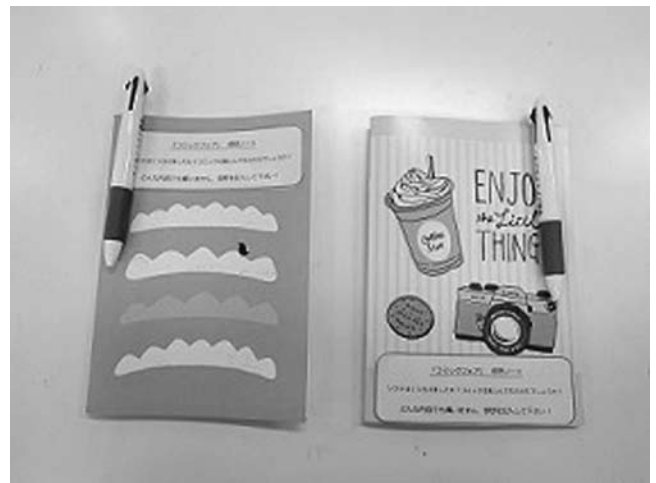


図3 感想ノート

しい発見につながっていた。

委員からは、「コミックとともにくつろぐ場所を提供するというのが新しい発想であると思う」「学生アルバイトを主体にポスター作成、場所やソファの選定を行ったのが良かった」「学生の実態調査アンケートで、学習場所の確保が難しいとのことだったので、今後コミックフェアの場所を有効活用していけると良い」などの意見があり、今後の学術メディアセンターの活動に学生との協同の可能性が確認できた。

【学生の意見：コミックフェアの感想（感想用ノートから抜粋、ほぼ原文ママ）】

- ・座り心地がよく、ずっと読んでいたくなります。コミックの種類も豊富になっていてとてもおもしろいです。
- ・知らないコミックが増えていました。看護や医療を題材にしたものだけでなく広い意味での”医療系”になっていて面白かったです。
- ・「死ぬくらいなら会社辞めれば・・・ができない理由」という漫画を読みました。将来保健師になりたいのですが、過労自殺をする人の気持ちがとてもわかりやすく描かれていて勉強になりました。ソファもふかふかで快適です。
- ・うしろの窓のすき間が気になりました…。リラックスして漫画が読めるのが良いと思います！
- ・ソファの座り心地がとても良かったです！！まったく読めました。漫画もとても面白かったです。統合失調症のことが分かりやすく描かれていて理解が深まりました。
- ・新刊が入っていて、良かったです。また来て楽しませて頂きます。
- ・座り心地がとてもよいと思いました。のんびりと楽しめます。
- ・ソファに座ってゆっくりと新刊を読むことができました。
- ・ソファの座り心地が良くて、ゆっくりできます。コウノドリファンですので、とても興味深く読めました。
- ・漫画で書かれているので、とても面白かったです。
- ・漫画の種類があって良かったです。医療系以外の漫画があると、さらに来館者が増えると思いますが、難しいですね…。
- ・こういう空間って大事だと思います。医療系の専門書もコミックから入ると分かりやすくこれからも増やしてほしいです。
- ・「死ぬくらいなら会社やめれば」ができない理由を読みました。内容がとても納得できるもので見て損

はないなと思いました！窓がおおわれているので外から見えなくていい空間になっていて良い◎

- ・窓にも目かくし貼ってあるので、ゆっくり時間を気にせずにくつろげました。

#### 4. まとめ

今回の「秋のコミックフェア」は、平成29年度学術メディアセンターの新規の活動として、ひとつのトライアルである。このトライアルを通じて、今後の活動には、学生との協同で多くの活動の案が考えられることがわかった。例えば、学部マスコットの作成、学術メディアセンターの学習グッズ開発、季節の図書フェア開催、学術に関連する講演会、教員との座談会など夢がふくらむ企画案が盛りだくさんである。このように学術メディアセンター運営小委員会では地道なトライアルを積み重ねながら、「情報発信力」を強化して活動の幅を拡大していきたいと考えている。